

めざそう!人口5000人をキープ!

10年後も
いちまん ひとみ
10000の瞳

御牧の郷だより

御牧ふれあいの郷づくり協議会 編集 広報部 平成30年11月 第18号

天空の芸術祭2018・ライフイズアート展 無事に閉幕しました!

10/13(土)から北御牧地区にて開催しておりました天空の芸術祭2018・ライフイズアート展は、10/28(日)に無事閉幕いたしました。ご協力に心から御礼申し上げます。天空の芸術祭2018は、国内外のアーティスト6名による滞在制作や作品展示。ライフイズアート展は、地域

と東京芸大による展覧会。来場者数は、昨年の1,6倍となり、少しずつ広がりを感じられるようになってきました。来年度も開催します。引き続き、地域の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

(天空の芸術祭2018・ライフイズアート展実行委員会)



北御牧の人の動き

総人口 4,812人 (-21)

男 2,382人 (-13) 女 2,430人 (-8)

転入 17人 転出 23人

出生 5人 死亡 18人

10月31日現在 ()内は8月末対比

目次 Index

p 1-2 天空の芸術祭・Life is ART 展報告
ものづくりワークショップ

p 3 地域ビジョンのページ

p 4 サロンレポート／知恵蔵の時間⑤⑥

無事に閉幕しました！

天空の芸術祭 2018・ライフイズアート展



みんなの描いた作品展 表彰式の様子

第2回ものづくりワークショップ開催！

10/21(日)と28(日)に「第2回ものづくりワークショップ」が開催されました。今回は講師に陶芸家の角りわ子さん(八重原在住)をお迎えし、「野焼き体験～古代人ごっこ～」と称して八重原の土を用いて小物づくりを行いました。



ワークショップの様子

次回、第3回は「ちゅうきんことはじめ」を開催します。11/24(土)と12/1(土)に金属の錫を使ってそれぞれ小皿とおちょこを作ります。

◆第3回ものづくりワークショップ◆ ～ちゅうきんことはじめ～

金属を溶かして型に流し込み、形をつくる技法、
鑄金。そんな普段では体験できない鑄金のワーク
ショップを行います。(会場：憩いの家)

// ござら編 // 11/24(土) 13:00-15:00(予定)

// おちょこ編 // 12/1(土) 13:00-15:00(予定)

※2日間ありますが、各回それぞれお申込みいただけ
ます。お申し込み、詳細はHP(下記QRコードからとべ
ます)またはお電話でどうぞ。



0268-67-1010(担当・神崎)

9月、10月、いよいよチーム10000の瞳は、2つのプロジェクトチームでビジョン実現に向け動き始めました。

その報告をしようと思っていたところに、「かくま祭」でのこんなニュースが飛び込んできました。ぜひお読みください。

どうなる?! どうする!? 北御牧

北御牧中学校 1年1組 岡田 奈和実(ほぼ全文のまま掲載)

皆さんは、今の北御牧小学校のクラス数を知っていますか。小学校では、1クラスの学年、いわゆる単級の学年が四つあり、学校全体のクラス数は八クラスになっています。そしてこれから先も単級の学年が増えていき、すべての学年が一クラスになることが予想されています。それはつまり、北御牧の子供の数が減っているということなのです。クラス数の減少とともに、支部によっては一人も子供がいない学年があり、子供の減少は北御牧が抱える問題の一つです。

4,845、この数字は平成30年4月現在の北御牧の人口です。子供の数だけでなく、今、北御牧全体の人口は、合併し東御市となる前に比べ、約700人も減ってきてしまっているのです。私は、この北御牧の人口を、今よりもっと増やしたいと思っています。私は家で、「御牧の郷だより」というものを見つけました。ここ最近の北御牧での出来事が書かれていて、少し興味が沸き、読んでみたのです。

読み進めていくうちに、私は一つ気になる記事を見つけました。その記事には、北御牧の人口がどんどん減っていき、数十年後には3,000人を切ってしまう、という予測グラフが書かれていたのです。3,000人を切る、それはつまり、今の北御牧の人口の5分の3になってしまう、ということなのです。北御牧の人口が減っているのは知っていましたが、私の生きているうちにここまで人口が減ることを改めて知り、すごく驚きました。それと同時に、この北御牧に人が増えるよう、これからの北御牧について、もっと考えていかなければいけない、と強く思いました。北御牧には美しい自然がたくさんあり、それを私たちは当たり前のように見えています。でも、このまま人口が減っていったら、山や森の管理者がいなくなり、美しい自然が失われていってしまいます。自分たちの育った場所が、廃れていってしまいます。高齢化で人が減っていくのは仕方のないことだとは思いますが、でも、何らかの方法で人を増やし、美しい北御牧を守っていくこともできるのではないのでしょうか。

北御牧も、ただ人口が減っていているわけではありません。北御牧に移住してくる方もたくさんいるのです。しかも、東御市は交通の便も良く、長野県の中で暮らしやすい市

第1位になったこともあります。

ではなぜ、北御牧の人口は増えないのでしょうか。

原因は「この地域の魅力をたくさんの人に伝える」ことができていないからだ、私は思います。人が住むようになるきっかけは、その土地を「知る」、その土地に「触れる」ということ。北御牧を知らない人に、北御牧を知ってもらう。インターネットが発達している今、ホームページだけでなく、SNSを使って、北御牧の魅力を精力的に伝えていくのも、一つの手だと思います。

ただ知って終わり、ではなく、「ここに行ってみよう!」と思えるようなものがあると、もっとたくさんの人に北御牧を感じてもらえるのではないのでしょうか。例えば、御牧ニユードカンコ・火のアートフェスティバルのような、実際に北御牧に触れられるイベントを増やしたり、「来年も行きたいな」と思ってもらえるようなことをするのも、とても大切なことだと思います。

このように、移住者を増やすこともとても大切なことですが、やはり一番大切なことは、今、北御牧に暮らしている人達が、「いつまでもここで暮らしたい!」と思える場所にするのではないのでしょうか。皆が「住みたい!」「残りたい!」と思える北御牧にすることが、一番大切なことだと、私は考えます。

今、私たちが見ている北御牧の景色はとても美しいものですが、人がいなくなってしまうと、この景色も見られなくなってしまうかもしれません。50年先も、100年先も、この景色が見られるよう、私達にもできることはあるはず。この北御牧が、いつまでも続いていくように。



かくま祭で発表する 岡田 奈和実さん

サロンレポート 10/27(土) 第2回 サロン市



2回目のサロン市は、旬のお野菜や果物、お餅、おやき、お米やシクラメンなどが、サロン入口にずらっと並びました。生涯学習作品展が開催されていたのとあまって、多くの方にご利用いただきました。「毎月やっているの?」「次はいつですか?」なんて言ってくださる方もいました。



そこで、次のサロン市は、下記日程で開催します。お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

12月1日(土) 午後1時～3時 サロンXmasコンサート & サロン市(第3回)

● Xmasコンサート

「じゃんけんゲーム」 豪華景品あり
「みんなで歌おう」
「マンドリン演奏」など

● サロン市

長芋、白菜、大根など
旬の野菜、おやき、お餅、お花など



知恵蔵の時間

@まる屋

第5回 関和一さん「昭和の八重原の農業」



9月9日まる屋にて

「わいっちゃん」と慕われる関さんは、気遣いのできる人。穏やかな人柄とさりげなくそっと見せてくれる優しさに、「女性に人気の癒し系」と周りからは口をそろえて言う。関さんの人生は、北御牧の農業の歴史そのもの。まだ農耕に馬が使われていた昭和のころ、田んぼと養蚕の作業が重なる大変な時期を振り返り、「女性がすべてを背負って日本を支えていた」と語る。その当時から女性の活躍に注目し、新しい時代の感覚を持ち合わせていた関さん。みんなに慕われるのもうなずける。

第6回 青木桂子さん

「地域の集いの場 憩いの家」

青木さんを慕う憩いの家で働いていた女性や地域の方で、まる屋がいっぱいになった紅葉の美しき午後のひととき。「青木さんが大将として働いた日々は、本当に楽しくて充実していた」「女性パワーに溢れていて、それが長野県中に響き渡っていた」「みんなが地域のために一所懸命働いて、和気あいあいとお客様を迎えて、人生で一番輝いていた」北御牧の団結力と連帯感そして女性の力を感しました。



知恵蔵の時間 青木桂子さん講演 2018年10月21日

10月21日まる屋横にて